

平成29年度経営発達支援事業の取組みに関する実績並びに評価の公表について

草加商工会議所

目標:「行動する商工会議所と育てる商工会議所」の達成に向け、地域の小規模事業者に対し①事業計画の作成からフォローアップまでを伴走型支援、②連携支援を強化、③地域経済の活性化に寄与を実施する。

I 経営発達支援事業の内容

1. 地域経済動向調査に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

地域内の経済動向と業種業態ごとの景況やニーズを把握するために、小規模事業者に対して、売上、資金繰り、後継者の有無などに関する調査を実施し、調査結果をホームページ・会報等を通じ、随時提供する。

＜結果＞

調査結果のフィードバック目標420件に対して、全職員による1人1日1会員訪問運動により会員1,148事業所を訪問。当所並びに当所会館利用者アンケート等を実施するとともに、各種情報のフィードバックに努めた。	評価 A
--	---------

3. 事業計画策定支援に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

地域の経済動向調査、経営状況の分析等の結果を踏まえ、積極的な巡回指導と事業計画の進捗状況の確認を行うとともに、小規模事業者の習熟度に応じた事業計画作成支援を行う。

＜結果＞

経営革新計画の作成支援、国の補助金申請に伴う事業計画書作成支援、創業計画作成支援等、40件の目標に対して135件の支援を実施した。	評価 A
---	---------

5. 需要動向調査に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

小規模事業者が新たな販路の開拓や新商品の開発に必要な「買い手のニーズ」に関する各種調査を行い、個社の販路開拓や事業計画作成の検討材料づくりを支援する。

＜結果＞

東武鉄道(株)やフィリップモリス・ジャパンとのコラボ企画により、小売業を主な対象とした電子決済端末の導入に関する調査や飲食店を主な対象とした受動喫煙対策に関する調査を実施した。30件の目標に対して58件の調査結果であった。	評価 A
---	---------

II 地域経済の活性化に資する取組み

＜当所の取組みと目標値＞

地域経済の活性化を目的に新たな賑わいを創造するため、国指定名勝「おくのほそ道の風景地」“草加松原”を積極的にPRするとともに、産業観光事業及び特産品の開発支援等に取り組む。

＜結果＞

草加商工会議所まつりをはじめとするイベントや松原団地駅名変更協議会による新駅名誕生PR、草加市モノづくり観光推進事業を積極的に開催し、地域経済の活性化に寄与できた。	評価 A
--	---------

2. 経営状況の分析に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

経営指導員による巡回・窓口相談、各種セミナー・個別相談会の開催等を通じて、小規模事業者の経営状況の分析を行う。

＜結果＞

専門家派遣を実施した事業所や国の補助金申請を支援した事業所、創業塾の受講者を対象に経営状況の分析を実施。目標80件に対して115件の支援を実施した。	評価 A
--	---------

4. 事業計画策定後の実施支援に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

事業計画策定後は、計画の進捗状況確認とフォローアップを目的とした巡回訪問を実施する。また、必要に応じて専門家派遣事業を通じてアドバイスをを行う。

＜結果＞

経営革新計画作成支援やマル経融資申込み事業所等へのフォローアップを、40件の目標に対して81件実施した。	評価 A
--	---------

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

＜当所の取組みと目標値＞

小規模事業者の販路開拓支援をするため、展示会、ビジネス交流会(商談会)を開催するとともに、ものづくりに関する受発注情報を充実させ、小規模事業者のPRと販売や情報収集の機会の創出を目指す。

＜結果＞

「monoマガジン」の地方創生特集として草加モノづくりブランド認定製品を掲載し好評を得た。一方で、ビジネスアリーナへの出展支援目標14件に対して11件にとどまった。	評価 B
--	---------

III 支援力向上のための取組み

＜当所の取組みと目標値＞

各関係機関と連携及び情報交換を図る他、ベテラン経営指導員や専門家と同行する等、チームで小規模事業者を支援し、OJTにより伴走型の支援能力の向上を図る。また、職員勉強会を定期的実施する。

＜結果＞

専門家派遣48回に職員が同行し、伴走型支援のOJTを実施。また、全職員を対象とした職員勉強会を開催し、支援機能の強化を図った。	評価 A
---	---------